

「未来の私たち」

21世紀のテクノロジーが
私たちの考えや感じ方をどのように変えるか
Susan Greenfield

Published by Allen Lane 2003

Published in Penguin Books 2004

内容

序文

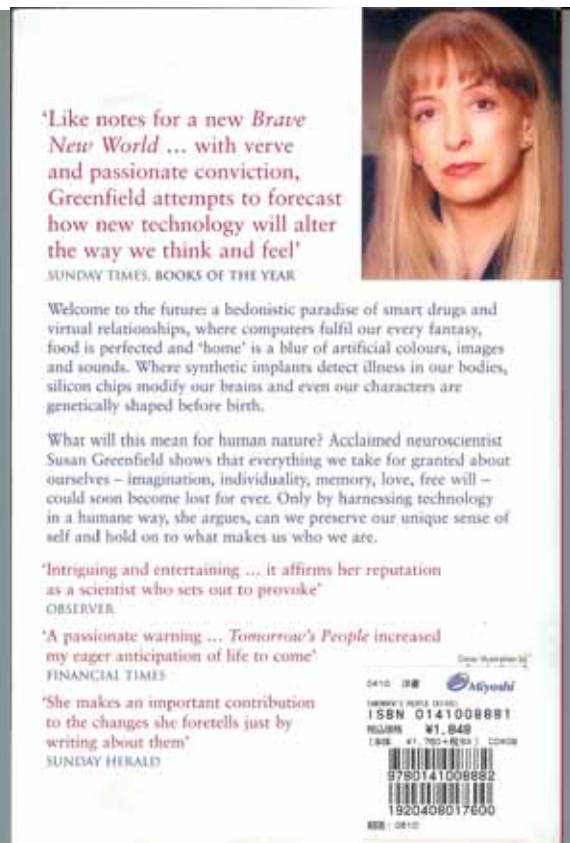
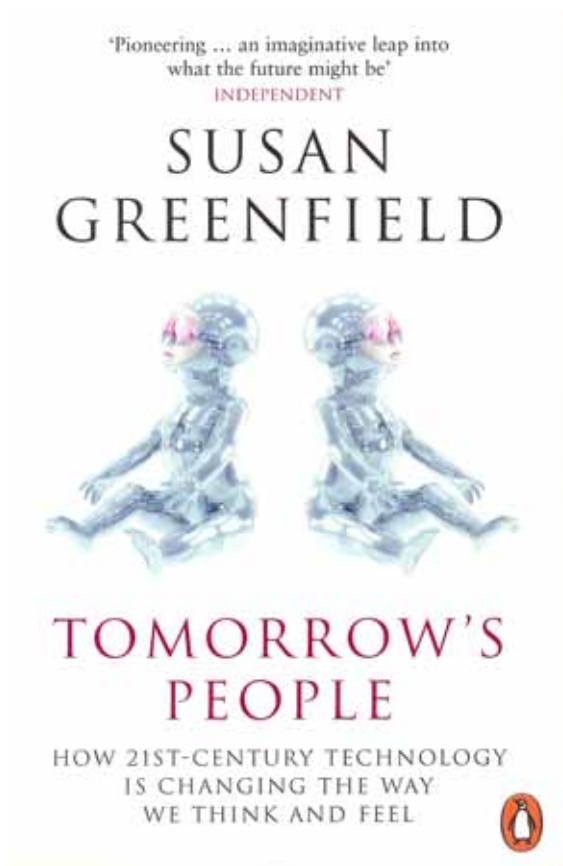
- 未来： 何が問題なのか？
- ライフスタイル： 私たちは何を現実として見ているのか？
- ロボット： 私たちの身体をどのように考えるのか？
- 職業： 時間をどう使うのか？
- 生殖： 生命をどう見るのか？
- 教育： 何を学ばなくてはならないのか？
- 科学： どのような問いを問うのか？
- テロリズム： 私たちはまだ自由意志を持っているのか？
- 人間性： それはどれだけ強固か？
- 未来： 可能な選択は？

以上の和訳は科学技術社会研究所ホームページ・会員ページに掲載されています。

スーザン・グリーンフィールドは聖ヒルダ大学（オクスフォード）を卒業した後、薬理学博士号を取得、オクスフォード大学の生理学教室、フランス大学（パリ）、ニューヨーク大学医療センター、1985年にリンカーン大学のシナプス薬理学の講師などを経て、1996年に薬理学教授。1998年に英国国立研究所の所長に就任。パーキンソン氏病、アルルハイマー病などを研究グループを指導する一方で、心の身体的な基礎について関心を持ってきた。1995年、[*Journey to the Centres of the Mind*](#) を出版して意識に関する自らの理論を発表。

スーザン・グリーンフィールドはHarpers and Queenによって世界で最も優れた50人の女性の14番目にランクされている。公衆への科学知識の普及活動に対して、王立協会からファラディメダルを授与されている。

スーザン・グリーンフィールドはBaroness (Lady)の称号を与えられ、House of Lordsのメンバーである。



未来。それは、科学技術に支えられ、バーチャルな関係に満ち満ちた快樂主義の天国です。衣食は完璧で、住む家は人工の光と音とイメージにあふれ、コンピュータやドラッグは私たちの生活をファンタジーで満たします。衣服や家のそこそこに埋め込まれたシリコンチップが身体の異常を常時モニターするので人々は最高の健康を維持し長生きします。

このように人々は快適に生活していますが、彼らが見ている世界はバーチャルで、現実世界との境界がぼやけています。個人個人の脳は、そのぼやけた環境からの刺激を得てシナプスを形成するのです。このことは何を意味するのでしょうか？著名な神経科学者であるスーザン・グリーンフィールドは、想像力・個性・記憶・愛・自由意志など私たちが当たり前を持っていると思っっている全てが、いずれ永遠に失われることになるかと警鐘を鳴らします。そして、科学技術をコントロールして人間的な道に使うことによってのみ、私たちの唯一無二の自我を保持し、私たちが私たちであるところのものを維持することができると、グリーンフィールドは論じています。